

平成26年度 豊田市防災会議 会議録

日 時 平成27年2月12日（木） 13時30分から14時20分

場 所 南51会議室

出席者 会長、委員33名

（35名中33名の出席により、過半数を超えており本会は有効に成立）

□ あいさつ

豊田市長 太田 稔彦

□ 議 事

1 豊田市地域防災計画の改訂について （説明：事務局）

（1）主な修正事項

ア 南海トラフ地震防災対策推進計画を位置づけ

「東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」が、「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に改正され、本市が推進地域指定を受けたため、豊田市地域防災計画を南海トラフ地震防災対策推進計画に位置づける。

イ 被害想定の見直しに係る修正

平成26年5月に愛知県による南海トラフで発生するおそれのある地震の被害想定が公表されたことにより、被害想定を追加する。なお、豊田市独自の被害想定を調査中であり、調査結果に基づく対策を実施していく。

ウ 基本理念及び重点を置くべき事項に係る修正

災害対策基本法改正で災害対策の基本理念が明確化されたこと及び豊田市防災基本条例を踏まえ、被害の最小化と被害の迅速な回復を図る「減災」の考え方等の基本理念を定める。

また、国の防災基本計画及び愛知県の地域特性及び被害予測調査結果を踏まえた「揺れ対策」などを「重点を置くべき事項」として記載する。

エ 避難支援等関係者の追加に係る修正

避難支援等関係者に消防団、豊田警察署、足助警察署を追加して、避難行動要支援者名簿を提供する。

オ 防疫活動に係る修正

公益社団法人愛知県ペストコントロール協会との協定締結による応援協力を追加する。

カ 下水道施設対策に係る修正

廃止した汚水処理施設の利用及び施設が被災した場合の対応を追加する。

- キ 愛知県地域防災計画の修正を踏まえた修正事項
災害対策基本法、水防法の改正に伴う事項等について、愛知県地域
防災計画の修正にあわせて修正し、県計画との整合を図る。

【質疑・意見等】

- 愛知県（西三河県民事務所）からの情報提供

愛知県が平成26年度に策定した第3次あいち地震対策アクションプランについて説明。第3次あいち地震対策アクションプランは東日本大震災の教訓及び平成26年5月に公表した愛知県被害予測調査に基づく地震対策の行動計画。死者数約8割減、建物の全壊・焼失棟数約5割減等の減災目標や住宅の耐震化率の具体目標を達成する為の、243のアクション項目を制定。

- 愛知県（豊田加茂建設事務所）からの情報提供

豊田市における土砂災害対策の状況について説明。過去に愛知県で発生した大きな土砂災害及び豊田市の状況を説明。また、愛知県が進めているハード・ソフト対策についても紹介。

【採決】

異議なし 原案通り承認

2 豊田市水防計画の改訂について

（説明：事務局）

（1）主な修正事項

- ア 水防非常配備体制の変更

水防活動における消防団の安全確保について追加する。

- イ 重要水防箇所の改正

改修工事の進捗に合わせて重要水防箇所から削除された区間、現地調査等により新たに重要水防箇所として追加された区間等を修正し、県計画との整合を図る。

【質疑・意見等】

質疑意見なし

【採決】

異議なし 原案通り承認

3 豊田市災害対策本部運営要綱の一部改正について

（説明：事務局）

（1）目的及び内容

災害対応を円滑に行う為には各対策部の情報の共有、対応の協議が必要である。平成26年度は運用で、対策副部長会議よる会議を開催してきたが、第2非常配備体制が概ね完了したときに、副本部長会議の設置を位置付けるものとし要綱を改正する。

【質疑・意見等】

質疑意見なし

【採決】

異議なし 原案通り承認

4 豊田市防災会議条例の一部改正について (説明：事務局)

(1) 目的

現在防災会議委員は、防災関係機関等から定数上限の35人を選任しているが、災害対策基本法や豊田市防災基本条例の理念から勘案して、今後は多様な主体や新たな防災関係機関等からの参画を求めていきたいと考えており、その為には、定数の増員が必要となる。

豊田市防災会議委員に学識経験者、事業者、女性を選任し、また将来の委員の増員に備えて条例を改正する。

(2) 内容

防災会議条例第3条第1項を改正し、委員定数を35人から40人とする。

(3) 中核市の現状

防災会議委員定数 最多60人、最少30人、平均47.6人

【質疑・意見等】

質疑意見なし

意見・質問なしの為、条例改正案については3月市議会に提出する。

5 平成26年度の非常配備等について (説明：事務局)

(1) 平成26年度の非常配備について

今年度は準備体制が延べ33回、うち第1非常配備体制まで至ったのが5回、第2非常配備体制まで至ったのが3回。地震においては配備対象となる震度4以上の地震は発生しなかった。

(2) 台風18号における非常配備の概要について

非常配備体制、雨量、市内河川の最高水位、避難状況、被害状況等について説明。

【質疑・意見等】

質疑意見なし

6 平成26年度実施の防災訓練等について (説明：事務局)

(1) 豊田市市民防災総合演習について

ア 市民防災総合演習の概要について

市民防災総合演習は、平成7年の阪神淡路大震災の教訓を活かし、地域住民が防災理論を習得することを目指し、平成9年度から実施している。実施にあたり、住民が実行委員会をつくり企画・運営を行うことに意義があると考えている。

イ 平成26年度実施の防災総合演習について

平成26年度は旭地区にて11月に実施予定であったが、雨天の為に中止となった。平成27年度については現在調整中。

ウ とよた防災フェスタについて

平成26年3月に開催した「とよた防災フェスタ」、平成27年1月に開催した「とよた防災サミット」、平成27年5月に開催予定の「(仮称)とよた防災フェスタ」について報告。

【質疑・意見等】

質疑意見なし

5 その他

【質疑・意見等】

質疑意見なし

以上で全議事が終了